

# 陳 情 文 書 表

(教育委員会)

受 理 番 号	7 4 0	受 理 年 月 日	令 和 3 年 7 月 9 日
件 名	京北小中学校通学路の安全点検及び安全対策の実施等		
要 旨	<p>京北小中学校に通う児童の多くは学校から距離のある自宅に住む者が多く生徒数も少ないため、児童一人で歩く区間が必然的に多くなる。また、共働き家庭の増加、地域住民の高齢化、過疎化により大人が通学児童を見守ることが難しくなっているのが現状である。さらに、空き家、空き倉庫などが通学路に存在する場所も多数あり、熊の目撃情報も近年増加している。また、自動車のナビゲーションの高精度化に伴い、他府県ナンバーの車が地元民しか通行しないような道路に入ってくることも近年増え続けている。市街地に比べると歩道や街灯のない道路も多くある。児童が事故や事件に巻き込まれる可能性は高いと懸念している。</p> <p>以上のことから、児童が一人で歩く距離が極力少なくなるようなスクールバス運行経路の年度ごとの見直し、スクールバスが進入できない通学路での安全対策の見直しを陳情する。</p> <p>ちなみに我が家の場合、自宅から最寄りのスクールバスのバス停までは1.7キロメートルあり児童が徒歩で移動すると40分程度掛かる。その間の通学路に街灯やガードレールはなく、冬季だと下校時には真っ暗である。大型のトラック等も通行する道路なので現実的に児童一人で歩かせることは難しく、親が送り迎えをすることになっている。共働きで、両親も親戚も近くにはいないため、4月の入学以降は午後以降に仕事で両親が二人で市内へ出ることはできなくなった。</p> <p>スクールバスが当該通学路の1.7キロメートルを時速35キロメートルで走行した場合の所要時間は3分弱である。道幅は多少狭いが観光バスや10トンのダンプも通る道である。</p> <p>以前は（10年ほど前に2軒隣に児童がいたとき）自宅横までスクールバスが来ていたのでそのようにしていただけないかと小学校やふるさと公社にも何度も嘆願したが、現実的にバス停を移動させることは困難との回答であった。</p> <p>京北地域の児童は市街地の児童とは違い、年度ごとに様々な条件の場所から登校して来ることと思う。必要な安全対策も地域によって様々だと思う。その地域の実情に応じたより効果的な安全対策を講じていただくようお願いする。</p> <p>ついては、以下のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 京北小中学校通学路の安全点検及び安全対策の実施</li> <li>2 スクールバス運行経路の年度ごとの見直し</li> </ol>		
陳 情 者			
回付委員会	教育福祉委員会		